

技報第6号発刊にあたり



取締役 常務執行役員
技術本部長 米田 卓

極東開発工業技報第6号を皆様にお届けします。

2013年に創刊号を上梓しましたが、その当時には殆ど聞くことが無かった、5G、AI、IoT等の新しい言葉を毎日のように耳にするようになりました。最近の新しい技術は今までとは桁違いに早いスピードで進歩し続けています。

我々技術者はこの早い流れの中で自身の感性を研ぎ澄まし、最新の技術を学び取り吸収していく必要があります。最新の技術革新に追従できないと、今まで競争力を持っていた自社製品がある日突然陳腐化し淘汰される可能性も充分あります。

技術者はその新しい技術を基に、お客様に本当の価値と認めていただける物を製品ごとに正しく見極め、商品化開発を心掛けないといけません。しかしお客様が本当の価値と認めていただける物を創り出すには、車が働く現場に立たないと見えてきません。技術者自らが自社製品が働いている現地現物現状を見ないと、問題点も分からず創造も浮かんできません。

この中で極東開発工業の技術者は、常に三現主義をモットーとし新しい製品開発に取り組んできました。

その集大成の一つとも言えるのが、当号の中

で紹介しております新製品で、国内最高の吐出能力と最高のブーム高さを誇るコンクリートポンプ車(PY165-39)です。コンクリートポンプ車製造52年の歴史の中で大きなステップアップとも言える、革新的構造を採用した新製品です。建築物の大型化、高強度化に伴うお客様からの強い御要望にお応えし、ポンプ構造もブーム構造も原点から見直し、新しい技術にチャレンジして、コンクリートポンプ車のフラグシップ機を完成させました。

モノづくり企業の使命は、常に新しい製品を開発し、お客様が望み満足される高い機能を持つ製品を、安定した品質で社会に供給し続けることです。その結果がお客様から選ばれ続ける製品となっていくのです。この使命の起点を握るのが、開発者であり技術力です。我々技術者は常にこの使命を自覚し、新しい技術を吸収・応用し新たな顧客価値創造にチャレンジし、圧倒的差別化を有する魅力あるナンバーワン製品を開発し続けていきます。

今後ともご支援、ご指導を賜りますようよろしくお願い申し上げます。